

群馬大学記念館・天満宮・桐生新町重要伝統的 建造物群保存地区周辺散策

令和6年度第1回街中散策が5月18日(土)に行われました。理工学部池の周りに集合し、“織都桐生案内人の会”のガイドさんに案内していただきました。ガイドさんの一人は、桐生支部会員でもある高野さんでした。留学生4名、桐生支部からは6名が参加しました。

まず、群馬大学工学部同窓会記念会館を見学し、次いで天満宮を案内していただきました。天満宮近くのベーカリーカフェ内にある絹遊塾工房風花で、ガラ紡を用いた絹綿から糸を作る工程を見せていただき、絹綿から羊を模した小物を手作りし、記念にいただきました。個性あふれる羊たちになりました。

その後、本町通りを下りながら、伝統的建造物の説明をしていただきました。学生時代お世話になった方もいらっしゃると思いますが、埼玉県から移り住んだ方により昨年再開された銭湯“一の湯”の中を見せていただきました。初めて見る銭湯、営業時間前だったので、今度は友達と一緒に入りに来てね、と誘われていました。

有鄰館(旧矢野11棟の蔵群)までの本町通りで帽子屋さん、人形屋さんを見学させていただきました。有鄰館では、塩蔵、醤油蔵、酒蔵、味噌蔵をはじめ、いろいろな蔵の説明もしていただきました。

街歩き終了後、学生支援係を通して、参加した留学生(韓国)から次の感想文を寄せていただきました。喜んでいただけて、とても嬉しくなりました。縁あって群馬大学で学んでいる学生さんですから、是非とも日本を好きになって母国に帰っていただきたいと思っております。その一助になれば幸いです。

見学を受け入れ、対応して下さった方々、案内人の方々、ありがとうございました。

桐生支部参加者一同

工業会の方々の親切な紹介に感動しました。
桐生をもっと楽しめる場所や美味しい飲食店を紹介してくださいました。
今後僕だけでなく、両親や韓国の友達も訪問したくなるように紹介するための資料をたくさんもらうことができ、嬉しかったです。
お母さんも桐生に来たいと言っています。
ありがとうございました！



7



工房風花にて 坐繰り、糸づくり、繭からの小物作り等いろいろな体験ができました。



有鄰館にて。記念撮影の後、留学生はカラクリ人形劇を鑑賞しました。

